

## リーダーシップ研修 実施報告書

- 【演題】今こそ女性研究者の活躍のとき リン脂質代謝研究を通して医療に貢献する  
【講師】深見 希代子 氏（東京薬科大学 生命科学部ゲノム病態医科学研究室 教授）  
【日時】平成 28 年 9 月 21 日（水） 16:00～17:30  
【場所】岐阜薬科大学本部 大学院講義室  
【参加者数】57 人（うち女性研究者 17 人）

岐阜薬科大学卒業生であり、2003 年度猿橋賞（「女性科学者に明るい未来をの会」（1980 年創立）が、自然科学の分野で顕著な研究業績を収めた女性科学者に授与するもの）を受賞された当講師に講演を依頼した。まずはリン脂質代謝と癌やアレルギーとの関わりに関する研究成果を詳しくご紹介いただいた。猿橋賞に輝いた研究から、最新の未発表データまで、多岐にわたる研究内容は、薬学、医学関係の参加者の関心を引きつけ、活発な討論がされた。

もとは臨床薬剤師志望でありながら、結婚後の子育て専念期を経て、再就職の配属先が研究所であったことがきっかけで研究職に転向し、めざましい業績をあげ、現在では研究室を主宰するに至っている。大学内や国の機関の委員なども務めるトップリーダーとなった自身の経験から、責任者として研究を先導し優れた成果を出し続ける秘訣をお話しいただいた。

また、リーダーの視点から考える、望まれる研究者としての資質や態度を学生諸子に向けて、また今後リーダーになるべき人材の若手研究者に向けてはリーダーとして望まれる資質や研究力について、お話しいただいた。

学内の学生・若手研究者のみならず、学外からの研究者の参加もあり、研究者としてのリーダーシップ育成に関する意識啓発につながる有意義なものであったと考える。

